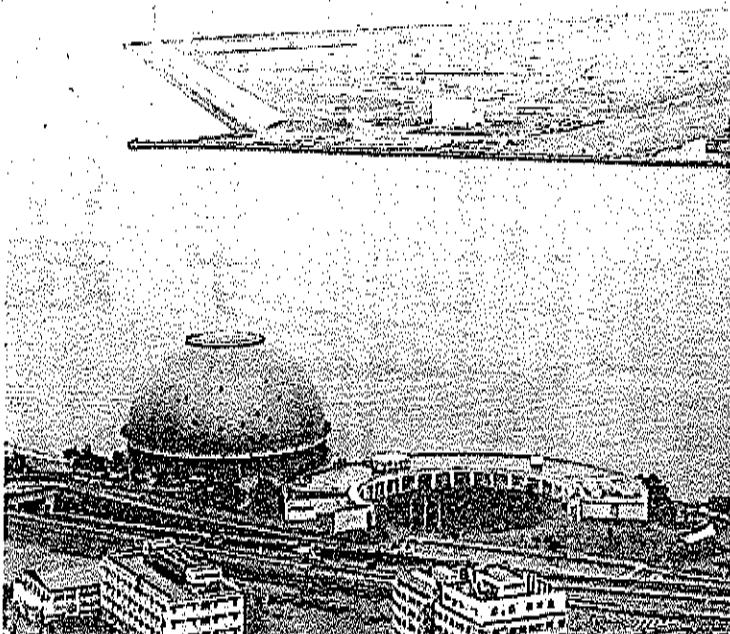


# カジノと一体推進 維新と自公政権の責任



万博・カジノ予定の夢洲（奥）をのぞむ—大阪市此花区

8/19  
云々

# 混沌 大阪万博

2025年4月に大阪湾の人工島・夢洲で開幕予定の大坂・関西万博で、海外パビリオンなどの建設の遅れが深刻になっています。会場建設費も上振れしており、関連の事業費も含めて、府民・国民の負担がどこまで広がるのかわかりません。畢竟無視のカジノ誘致計画や大型開発と一緒にになった夢洲での開催に固執してきた日本維新の会と自公政権の責任が改めて問われています。

（藤原直）

「現在の一番の課題は、海外パビリオンの整備だ」

1. 9日と開かれた大阪府市の万博推進本部の会議。

日本国際博覧会協会（万博協会）の高科淳副事務総長はそう説明しました。資料では、参加国が自前で建設する形式（タイプA）の建物について、「参加国側の設

計等の遅れや日本国内の施工業者の競争過熱とともにない、契約が進んでいない状態」と報告しています。

万博のパビリオンを巡っては、150超の参加国、

地域のうち、56カ国・地域

が自前で建設する予定です

が、資材価格高騰や人手不

足などの影響で建設業者と

## 建設遅れ・費用膨張…

の交渉が難航。建設工事に必要な許可申請書が1件も提出されておらず、その前段階の基本計画書を大阪市に提出しているのは、韓国とチエコの2カ国のみにとどまっています。

工事着手の許可が出るまでの審査には約2ヶ月かかるとされ、工事開始は早くても9月以降になります。

協会の想定する24年7月の建築作業完了まで一年もない状況です。

21年3月の万博関係府省庁連絡会議の初会合では、22年度までに設計・申請等を済ませ、23年度から工事に移るスケジュールが示されています。深刻な遅れが生じていることは明らかです。

今年7月には、万博協会の石毛博行事務総長が「年末までに着工すれば間に合う」との認識を示したのに、日本建設業連合会の宮洋一会長が「何が根拠なのかわからない」と定例会見（7月21日）で突き放す一幕も。同26日には宮本氏が万博延期について「ひとつつの選択肢」と語った産経新聞社のインタビューも報じられました。

# 万博 政府維新なりふり構わず

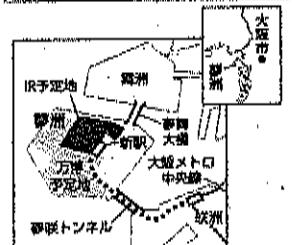
四  
五

## 建設労働残業規制外し画策 不払い肩代わりの保険創設

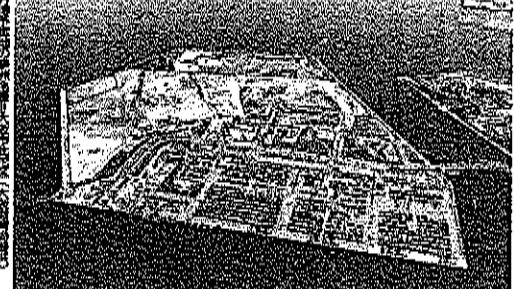
卷之二

（中略）  
（中略）

万佛协会之宝名の授與	
会員	小意禮物・賜回贈会員
松本正輔	開經禮會亞
馬井包吾	大阪商工會議所会頭
堀光敬助	關西經濟同友代表 幹事
小林櫻	日本工商會議所会頭
新垣寅太	統領日本會代謝野聯
吉村洋次	大阪府知事
鶴山草堂	大阪市長



カジノ賭博とセットで進められてきた「2025大阪・関西万博」	
2014年4月	大阪府市長が、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）の候補地を「夢洲を軸としたペイエリア」と確認
8月	橋下徹大阪市長が万博説明に取り組む意向を表明
15年4月	松井一郎知事のもとで大阪府が国際博覧会大阪開催候補地検討会を開設
12月	政界を引退した橋下徹元市長と、安倍晋三首相、枝野幸男らが会見。松井が安倍氏にお酒を注ぎながら万博の意義を訴えるなかで、安倍氏が、官邸運営室窓口に座を加めるよう指示を出したと松井氏は証言
16年6月30日	府の万博会場候補地検討会主席として「夢洲」を想定した資料を提出
17年4月11日	25年国際博覧会の大阪説明に向けて立候補と開催中止を行なうことが確定了解。4月24日には立候補を認可
18年11月23日	万博国際事務局（B1E）総会（パリ）で25年万博開催候補地を大阪に決定
20年12月	万博の会場施設費を1250億円から1860億円に引き上げ
◆	
2024年間中	当初のI.R開業目標
20年4月13日	万博開幕を予定（～10月18日）
29年秋～30年春	実現でのI.R開業検討会



2024年既中　当初の I.R.開業目標  
25年 4月13日　万博開幕を予定（～10月13日）  
29年秋～冬ごろ　東京での I.R.開業を目指す